篆刻アート表現研究Ⅱ

科目ナンバリング　JLN-112
選択　　2単位

山本　晃一

1. 授業の概要（ねらい）

篆書、隷書の古典臨書を中心として展開する。篆書は漢字の五書体で最も古い書体である。現在見ることの出来る最古の漢字は甲骨文字である。その後、金文や秦代には小篆が完成した。またこの頃日常的に使われていたのが隷書で、漢代になると漢碑などにみるような隷書が篆書にとって代わり公式書体となった。
篆書・隷書は、漢字の歴史の中では古いスタイルではあるが、現代でもいろいろなところで使われている。
篆書・隷書を学ぶことによって、文字の成り立ちを知り、表現の幅を広げることができ、書に対する新たな興味が広がっていくものと思う。
ここでは、金文、小篆、漢碑等を臨書し、また姓名印等を刻す。

2. 授業の到達目標

中国の秦漢代を代表する篆書・隷書の名蹟を臨書することによって、篆隷の特徴を知り、基本的な用筆や結構法を習得する。また篆刻の基本的知識、技法を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

出席が6割を超えること。その上で作品と、平常点によって評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
必要に応じてプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

関連する文献を精読すること。自宅でも練習すること。

6. その他履修上の注意事項

書道用具（筆大小、墨、硯、紙）必携

7. 授業内容

【第1回】　授業の内容、進め方について
【第2回】　張遷碑の臨書①
【第3回】　張遷碑の臨書②【LMSによるオンライン授業】
【第4回】　石門頌の臨書①
【第5回】　石門頌の臨書②
【第6回】　金文の臨書①
【第7回】　金文の臨書②
【第8回】　金文の臨書③
【第9回】　篆刻①
【第10回】　篆刻②
【第11回】　篆刻③
【第12回】　篆刻④
【第13回】　篆、隷書の創作①
【第14回】　篆、隷書の創作②
【第15回】　まとめ、作品鑑賞